

市の貯金は増えた。市民の負担は重くなった。

東大和まちの財政をまなぶ会 ②

(東大和市の財政を概観する) (単位・百万円)

	平21年度	平31年度	令2年度
借金			
借金残高総額	30,762	28,307	27,504
うち臨時財政対策債	7,092	14,967	15,070
うち下水道関係	13,939	7,815	7,090
貯金			
一般会計貯金残高	870	5,180	5,699
介護保険特別会計貯金残高		809	756
国民健康保険貯金残高		169	334
市民負担			
個人市民税	5,340	5,404	5,431
固定資産税	5,100	5,273	5,265
都市計画税など	1,499	1,606	1,618
保育料など	315	266	118
学童育成料など民生使用料	27	43	34
土木使用料	83	62	63
衛生手数料	67	306	311
国保・介保・後期保険料	3,160	4,185	4,214
下水道使用料	1,077	1,174	1,211
委託料等			
2給料	1,790	1,655	1,657
7賃金	338	422	-
13委託料	4,879	6,599	7,119

借金残高は、307億円から275億円へ減少

臨時財政対策債は、返還時に、国から地方交付税に加算して交付されると、言われている。

下水道建設の借金は、かなり減少した。

一般会計貯金残高は、9億円から、57億円に増えた。

介護保険会計にも貯金があり、長期的には徐々に増えている。

30年度から国税の連続値上げが行われているが、値上げ額以上の貯金ができている。

国保特会には、3年9月現在、4億773万円の貯金できた。

個人市民税は横ばい。所得が増えないから？

電力会社、ガス会社などへの道路使用料が減額された。値下げは珍しい。

ごみの収集が有料になった。

保険料は、毎年の如く値上げされている。

下水道使用料も値上げされた。

公民館などの有料化もしようとしている。

正規職員は減少。

非正規雇用は増加。(2年度から「7・賃金」は「1・報酬」という名の経費に吸収された。)

外部委託、民間委託が激増。

借金が減り、貯金が増えた。

ごみや下水道料金の有料化、値上げ、保険料の連続値上げ。市民の負担は重くなった。

公民館などの有料化・市民負担増もしようとしている。市民の所得は増えないのに。

電力会社、ガス会社などへの道路使用料は、減額された。

今年は、コロナで市民の所得が減っているのに、保険料は値上げされた。値上げ中止、延期した市が多い。

民間委託が増え、市役所職員の力量低下が心配。市外の手業者へ資金が流出している。